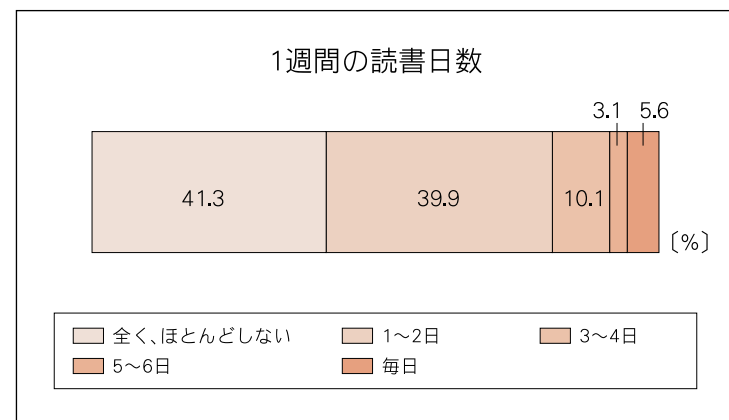
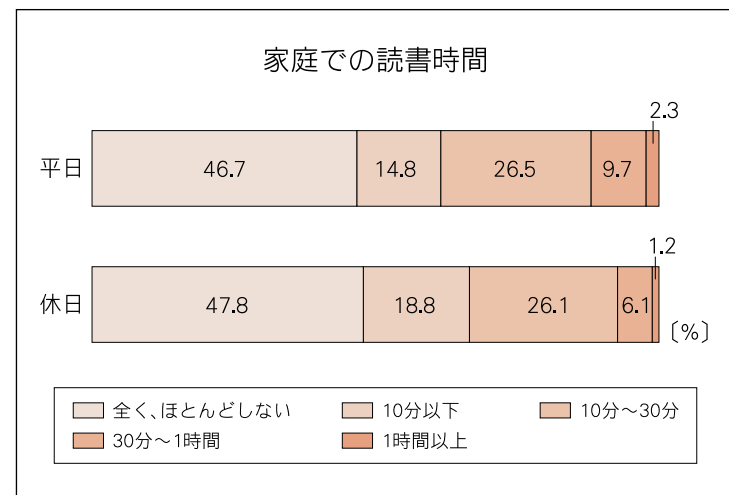


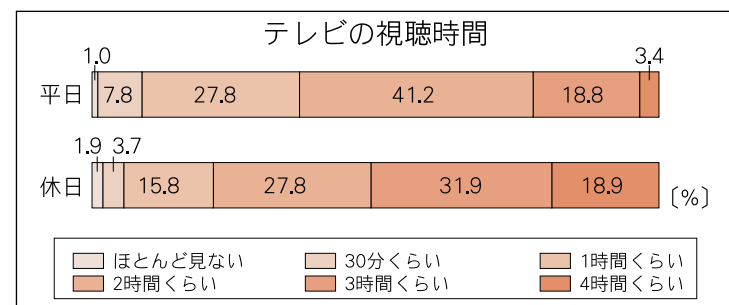
芳賀町っ子の 家庭での生活

学力と生活に関するアンケートから

読書について



テレビやゲームについて



1日の読書時間をみると、平日、休日ともにあまり読んでいないようです。1日の読書時間が10分以下の児童は、平日で約6割、休日では約7割でした。

家庭での1週間の読書時間(教科書や参考書、まんがや雑誌は除く)は、「全く、またはほとんど読まない」が約4割でした。また「1日～2日読む」が4割、「5日～6日」「毎日読む」児童は合わせて、約1割でした。

各学校では、読書タイムや読書集会の設定、読み聞かせ(ボランティア・教師・図書委員会など)、図書司書助手の先生による読書指導の工夫など様々な取り組みをしてきました。徐々に図書の貸出数は増加し、読書意欲も向上しています。

アンケートから読書については、学校での読書量は増えているが、家庭では読書をしていないという実態が見えてきました。

家庭では

- ①「本を読む時間」を作りましょう。
一緒に本を読んだり、本の話をするなど読書のきっかけを作ったり、時間を確保するなど子どもの成長に合わせた働きかけを続けたいものです。
- ②辞書や辞典、地図や電卓などを手の届く所に置く
「調べたい。ちょっと考えてみたい」と思ったときのために、辞書や辞典、地図や電卓などを手の届く所に置く環境づくりをしましょう。
※本をよく読む子どもは家庭でのコミュニケーションが良好で勉強を大切に思い、授業の理解度も高いなどの傾向がみられることが分かっています。(児童生徒の生活状況調査から) また、学校の授業以外に毎日10分以上読書をする子のペーパーテストの解答速度の平均が高くなっています。(県教委の調査から)

2時間以上のテレビ視聴時間が平日では約6割、休日では約8割でした。

「ビデオ・ゲーム・インターネット・メール」などを2時間以上している児童は、平日で約2割、休日では約4割で、かなりの時間だということが分かりました。

家庭では

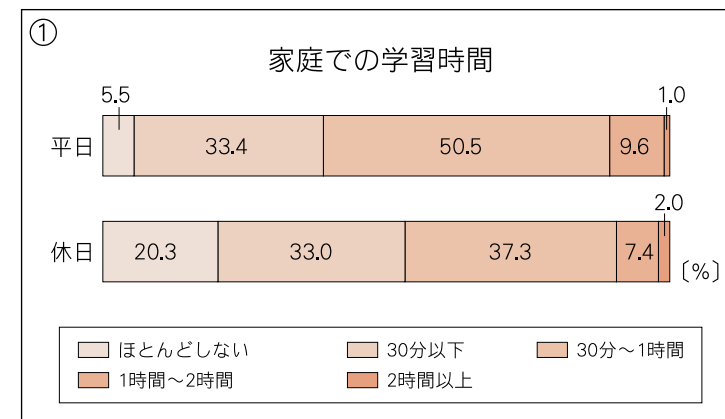
- ①テレビの付けっぱなしをやめる
- ②時間を決めてテレビを見る、ゲームをする
- ③テレビを見ない「ノーテレビデー」を家族で決めるなど家庭でのルールが必要です。

芳賀町学力アップ研究会で、9月に芳賀町の小学校に通う全児童の保護者を対象に、「学習と生活に関するアンケート」を実施しました。アンケートの結果、「起床時間・就寝時間を決めている」「適度な睡眠時間の確保」「朝食をしっかりとっている」「登校前に持ち物を確かめる習慣」など基本的な生活習慣は望ましい状況であることが分かりました。

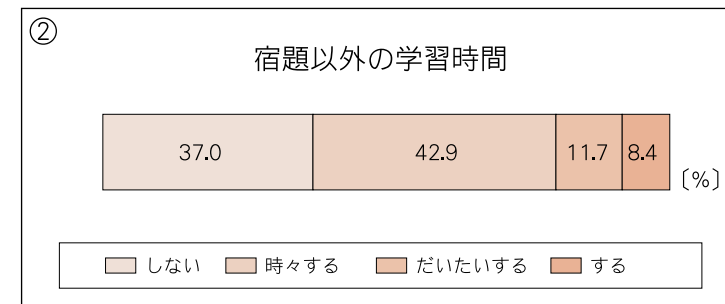
しかし、「家庭学習の時間」や「読書の時間」は少なく、「宿題以外の勉強時間」については、さらに少ないことが分かりました。一方、「テレビ視聴」や「ビデオ・ゲーム・インターネット・メール」などの時間は長く、休日はさらにその時間が増えることが分かりました。

町全体のアンケート結果を踏まえ、研究会と各学校では、保護者会などでお知らせするとともに問題点について理解を求め、家庭学習のありかたについて、その方針と内容を話し合い、理解を深めていきたいと考えています。

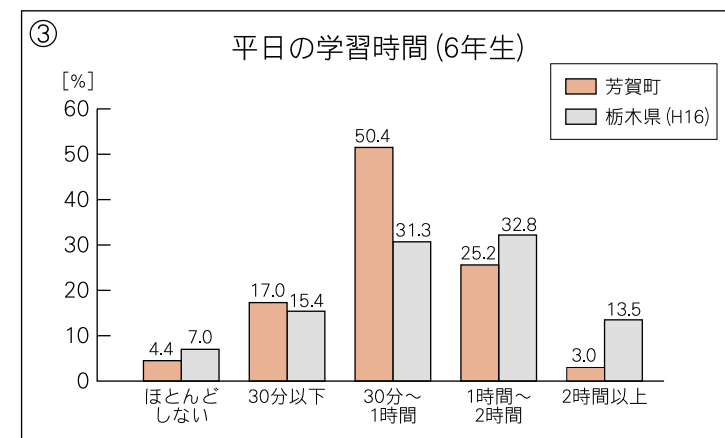
学習について



①学年が進むにつれ勉強時間が増加する傾向にありますが、学習時間が30分以下の児童の割合が平日で約4割、休日では約5割いました。「30分～1時間」する児童は平日で約5割、休日では約4割でした。約9割の児童が平日・休日の関わりなく1時間以内の学習時間だということが分かります。



②宿題以外の学習時間をみると、「する」「だいたいする」と回答したのは約2割でした。「しない」「時々する」子どもは約8割でした。家庭での学習は宿題だけで満足している様子が見えます。



※栃木県の6年生のデータは、平成16年度教育課程実施状況調査報告書(栃木県総合教育センター調査)を参考に比較しました。

③芳賀町と県の6年生における平日の学習時間を比較したグラフです。芳賀町では、学習時間は「30分～1時間」が約5割、「1時間以内」が約7割と大半を占めています。それに比べて栃木県平均の学習時間は「1時間～2時間」「2時間以上」を合わせると約5割を占め、芳賀町の児童の学習時間が少ないことが分かります。

家庭では

- ①子ども自身の「やる気」を大切にしましょう。
子どもは、「なぜだろう」「ちょっとおもしろそうだ」「へんだなあ」という気持ちから、学習に興味をもちます。このような気持ちを大切に受け止め、育てましょう。
- ②勉強の時間を決めましょう。
各家庭に合った生活時間の中で、勉強する時間を決めましょう。その時には、子どもが自分で決めるようにさせたいものです。約束を守ること、自分で決めたことを貫き通す力を育てることも大切です。
子どもの「やる気」を感じ取り、ほめたり、励ましたりしながら「自ら学ぶ習慣」を育てましょう。